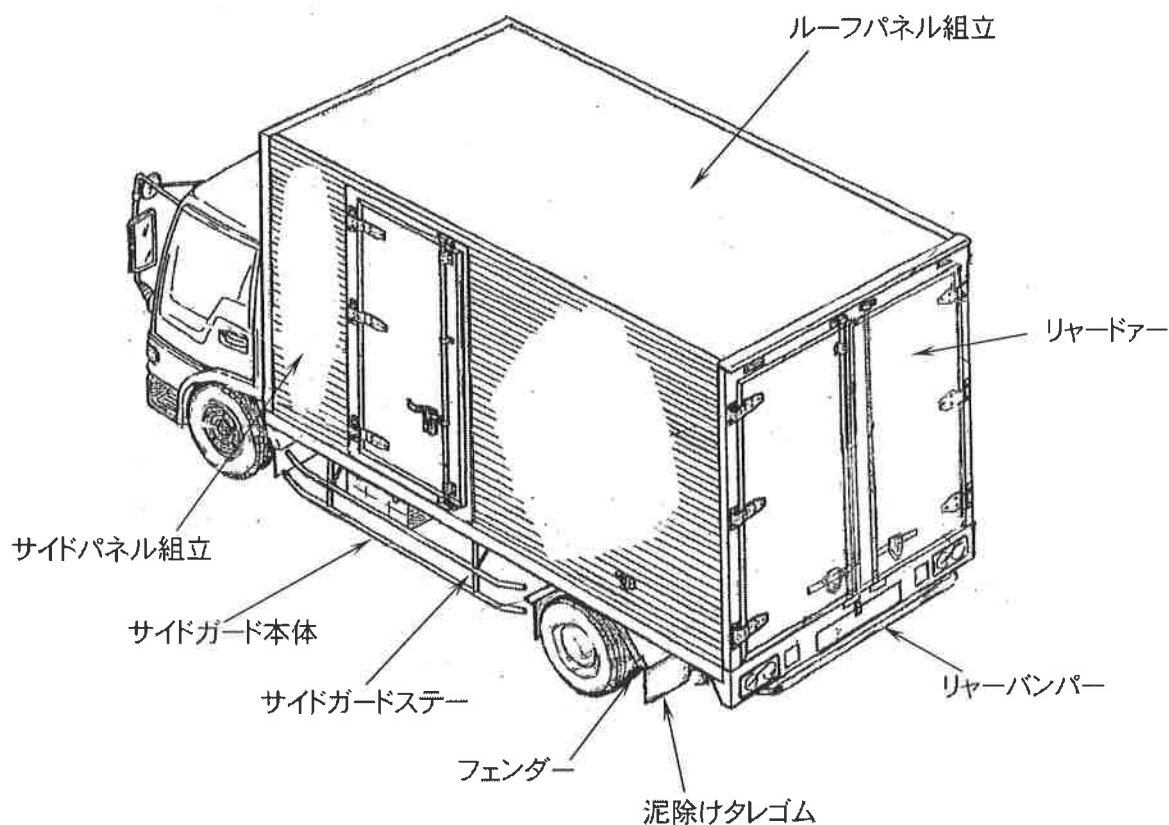


東邦車輛製ドライバンボディ解体マニュアル

東邦車輛株式会社

ドライバンボディの解体分別は下記要領で実施願います。

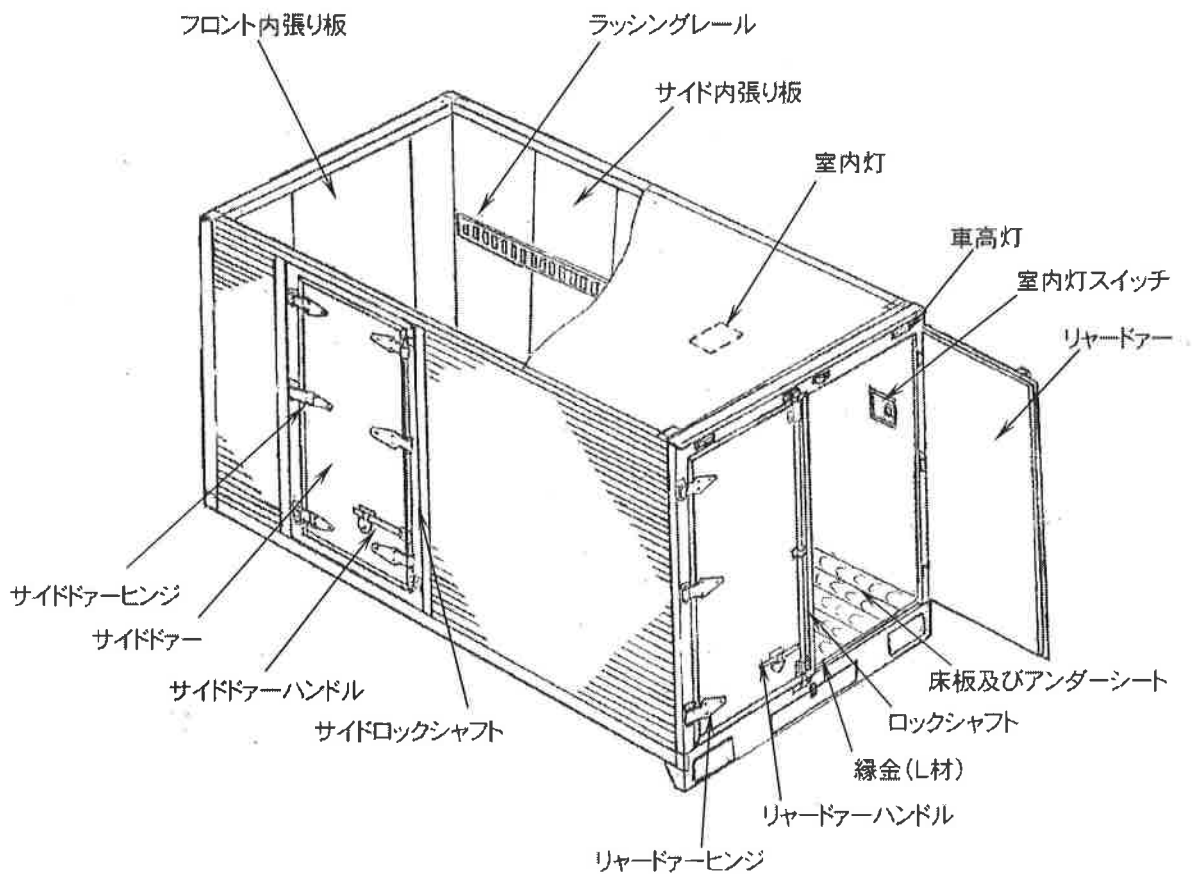


1. 装備品の取り外し

- 1) バッテリーの端子を取り外して下さい。(ショートすると危険なため)
- 2) リヤフェンダーはフェンダーステーにボルト、ナットで固定されていますので、この締め付けナット (M8~M10) を外して、リヤフェンダーを外します。
フェンダーに泥除けタレゴム、補助フェンダーが取付けられていますので、この締め付けナット (M6~M8) を外し、分解します。
- 3) サイドガード本体は、サイドガードステーにより横根太にボルトで固定されていますので、締め付けナット (M10~M12) を外して、サイドガード本体、サイドガードステーを外します。サイドガード本体はサイドガードステーにボルトで固定されていますので、その締め付けナットを外して分解します。
- 4) リヤバンパーは、ボルト、ナットで固定されていますので、この締め付けナット (M10~M12) を外しリヤバンパーを外します。

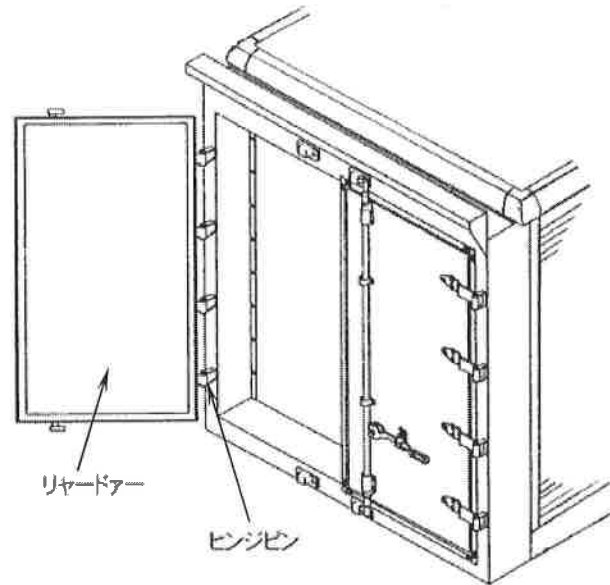
2. ドライバンボディーのシャシーからの分離

- 1) ドライバンボディーは、シャシーフレームに縦根太を介してUボルト（片側3～8箇所）で固定されており、この締め付けナット（M12～M16）を緩めUボルトを外します。
- 2) シャシーフレームと縦根太をUボルトの他にV字型ズレ止め金具、又は箱型ブラケットで固定していますので、これも締め付けナット（M16）を緩め外します。
- 3) シャシーフレーム側からドライバンボディーに、結線されている配線（室内灯、車高灯等）を切断します。



1 図

3. ドア取り外し



2 図

- 1) リヤードアは、リヤードアヒンジのヒンジピン抜け止め用割りピンを全数抜きます。次に、リヤードアヒンジよりヒンジピンを抜いて、リヤードアを取り外します。(2 図参照)
- 2) サイドドアもリヤードアと同様に、割りピンを抜いた後ヒンジピンを抜いて、サイドドアを取り外します。

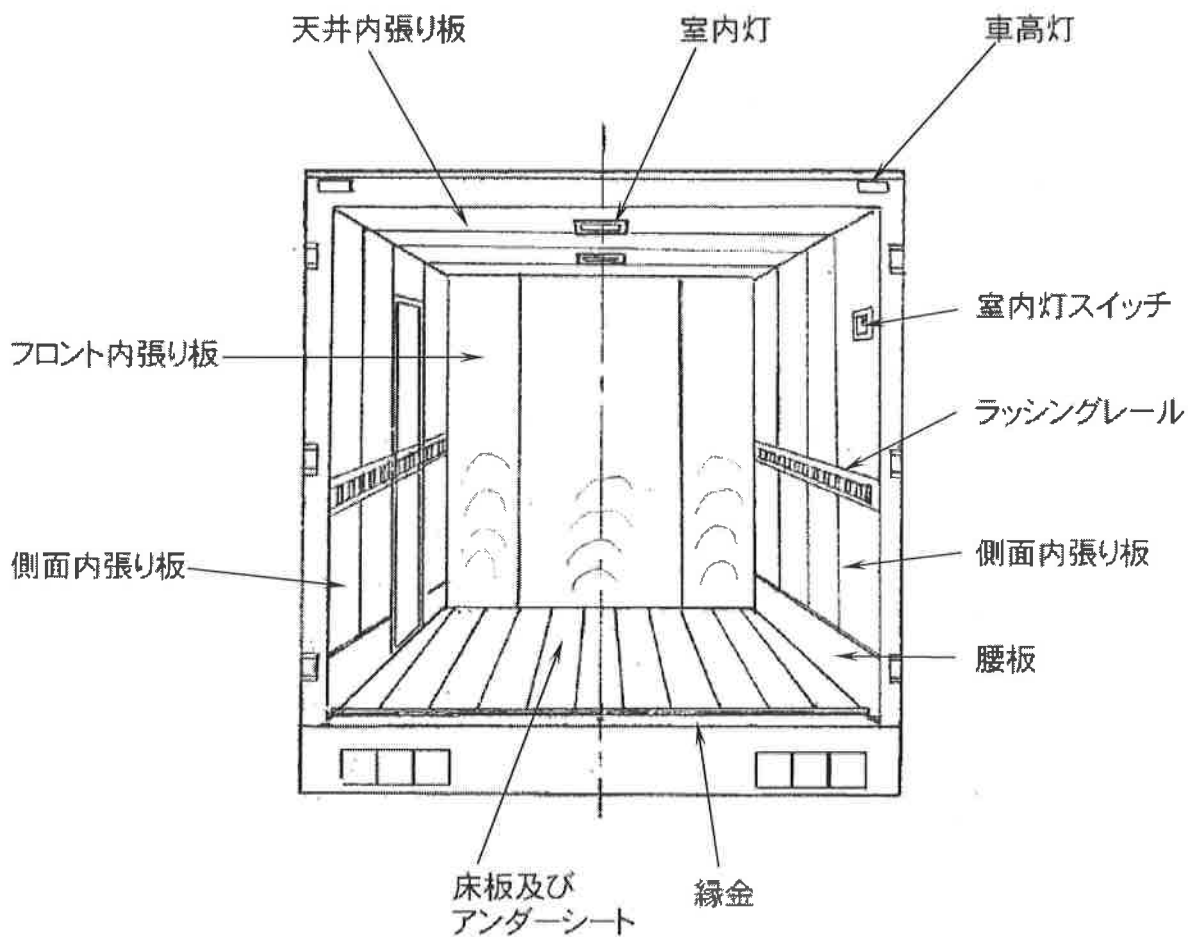
4. 艤装部品取り外し

- 1) バンボディー内外部の灯火類(車高灯、室内灯、室内灯スイッチ、テールランプ、車幅灯)及び取付け部品は、ボルト又はリベットで取付けてありますので、全て取り外します。リベットについては芯径よりやや太い $\phi 5 \sim \phi 6$ ドリルで芯部に穴を開けて取外して下さい。(3 図参照)

灯火類(電装品)取り外しは、7 図を参照願います。

5. 内装部品

- 1) バンボディーのフロント、側面、天井の内張り板（耐水ベニア等）をリベット又はドリルスクリューで取付けてあるため、全て取り外します。リベットは4-1項と同要領で`行ない、ドリルスクリューはエアードライバー等を使用して取り外します。水洩れを防ぐため、内張り板の周囲等にシール施工されているときは、カッター等でシール剤を削り取り外します。（3図参照）
- 2) バンボディー内部のラッシングレール、腰板（木材）等は、ボルト又はリベット、タッピングビス等で取付けられていますので、インパクトレンチ、ドリルで取り外します。



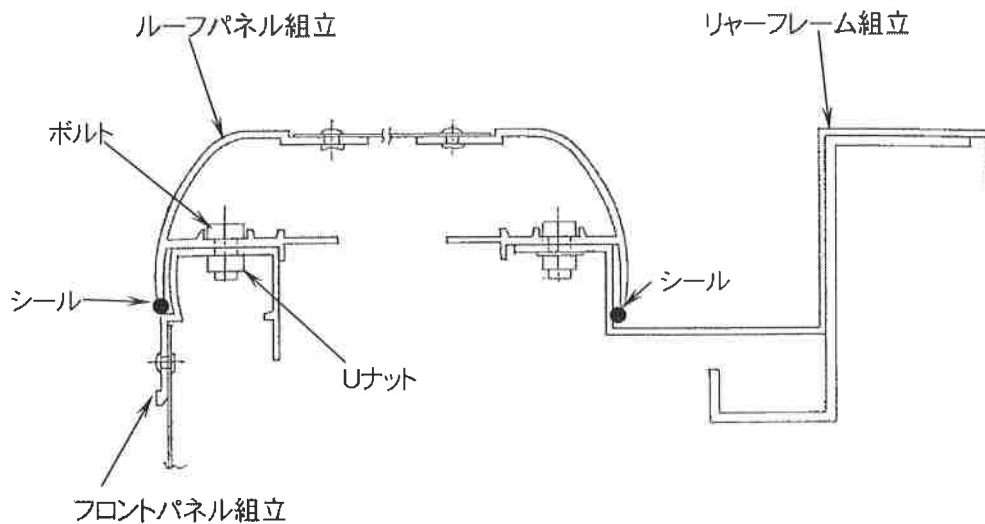
3図

6. 床板、アンダーシート

- 1) リヤードアー、サイドドアーの入口部に、鋼板製縁金（L材）がタッピングビス、溶接で取付けられています。これをタッピングビスは、エアードライバー等で、溶接は、サンダー、ガス切断等で取り外します。
- 2) 床板（アピトン材等）、アンダーシート（ガルバー鋼板、アルミ平板、FRPシート等）はタッピングビスで固定されます。これをエアードライバー等で取外し分解します。

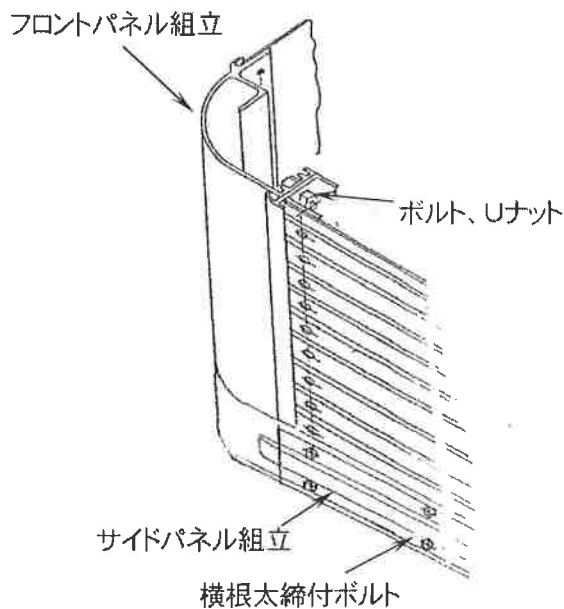
7. パネル

- 1) ルーフパネル組立は、下図のように、ルーフアルミ型材側から下向きにボルトを通してUナットで固定しています。フロント、サイドパネルの上部内側よりインパクトレンチ等でUナットを外して下さい。ボルト、Uナット（M8）を全て外したことを確認しルーフパネル組立を押し上げることでルーフパネル組立は外れます。ルーフパネル組立が外れない場合は、バール等でこじって持ち上げ取外します。シール類が塗布されている場合があるため、このときは、カーター等でシールを切除してルーフパネルを外します。（4図参照）

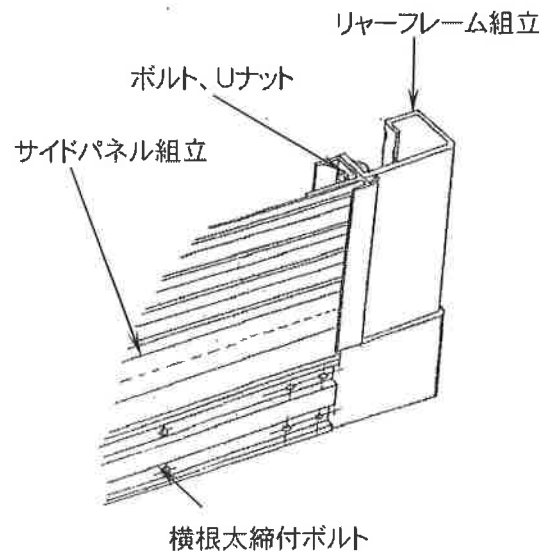


4図

- 2) フロントパネル組立、サイドパネル組立は、下部アルミ型材で横根太にボルト、ナットで固定されています。インパクトレンチ等で、ボルト、Uナットを左右のパネル共全て取外します。(5、6図参照)
- 3) フロントパネル組立とサイドパネル組立は、ボルト、Uナット (M8) で固定されています。フロントパネル組立、サイドパネル組立はサイドパネル側よりインパクトレンチ等で、ボルト、Uナットを取外して下さい。全て外しますとフロントパネルが倒れますので注意願います。(5図参照)



5図



6図

- 4) サイドパネル組立とリヤーフレーム組立は、ボルト、Uナット (M8) で固定されています。サイドパネル組立とリヤーフレーム組立もサイドパネル側よりインパクトレンチ等で、ボルト、Uナットを取外して下さい。全て外しますとサイドパネルが倒れますので注意して片側パネルごとに分解して下さい。(6図参照)
- 5) フロントパネル組立、サイドパネル組立、ルーフパネル組立は、リベット、ボルトで組立られています。インパクトレンチ、エアータガネ、ドリル、サンダー等により、アルミ型材、アルミパネル、鋼製骨材に分解します。
- 6) リヤーフレーム組立は、溶接で組立です。リヤーフレーム骨材をガス切断機、プラズマ切断機等で適当な長さに切断します。(フレームは、ステンレス製のこともあります。)

8. フロアー

- 1) 横根太は、縦根太にボルトで固定されています。インパクトレンチ等で横根太を取外します。(横根太、縦根太はアルミ製の場合もあります。)横根太、縦根太は適当な長さにガス切断機、プラズマ切断機等で切断します。横根太、縦根太にアングル材で溶接で固定されているときは、アングル材をガス切断機、プラズマ切断機等で切断し、横根太を取り外します。

9. リヤードアーク組立、サイドアーク組立

- 1) リヤードアーク組立、サイドアーク組立に取付けられたロック装置、ヒンジ類のボルト、ナット類を全て取り外します。
- 2) アルミ枠付タイプのアークは、ビスとリベットでパッキンとアルミ額縁材を固定しています。このビス及びリベットを取外し、パネルよりアルミ額縁材をバール等で分離します。
- 3) HゴムタイプはパネルにHゴムをステーブルで固定してあります。ステーブルをバール等で引き抜き、Hゴムをパネルより外します。
- 4) パネルは、表面がアルミ板、ステンレス板、FRP製等があります。内外表面材は、ヘラ状の道具、バール等で芯材と分離します。

最後に、ハーネス、鉄、アルミ、ステンレス、樹脂（FRP他）、ゴム類、木材等、材質別に分別して適正処理をお願いします。

お問い合わせ窓口

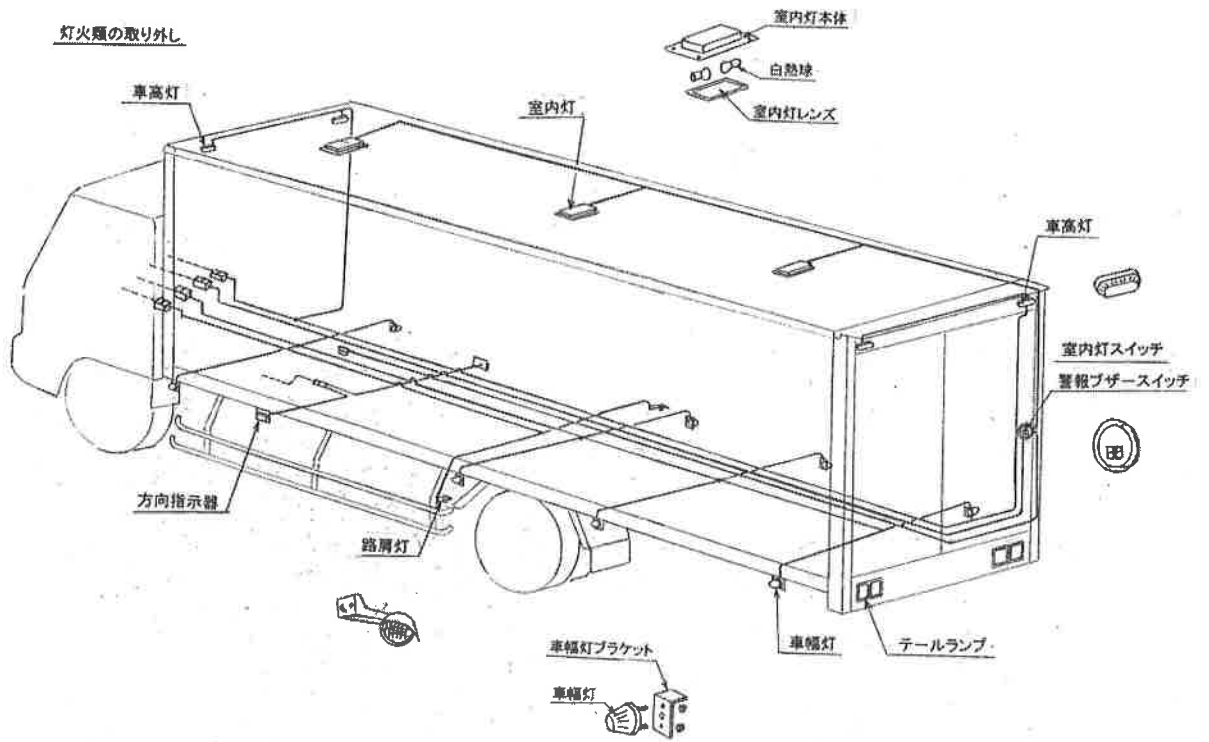
東邦車輛株式会社 業務課

TEL 045 - 575 - 9901

C 訂正 2012年4月2日 会社名変更

B 訂正 2010年7月31日 灯火類の取り外し(7図)の追加

A 訂正 2010年4月1日 会社名変更



7図